



夏場の暑さ対策の声を踏まえた「ブルー」の
作業服（E T S ライン提供）



架空・地中送電線など電力・電気設備を幅広く手掛けるE T S ライン（東京都豊島区、坂本泰男社長）は、4月に新しい作業服に切り替えた。現場からの改善要望がきっかけ。アンケートで最も希望が多かった夏場の暑さ対策を重視した。社員からは「明るいブルーになり、屋外作業の負担が大きく減った。これまでの濃い紺色に比



E T S ライン 現場の声を存分に反映 (東京都豊島区)

べ、熱中症のリスクも下がった」と好評だ。

導入したのは「C O C O S」（コーコス）ブランドの「A E-8090シリーズ（春夏用）」と「A E-8091シリーズ（秋冬用）」。動きやすい素材やウエストゴム、野帳やスマートフォンをしまうファスナー付きの大きい胸ポケットといった社員からの「譲れない条件」を反映した。

複数のサンプルを取り寄せ三つの候補を選定。「実際に着用しな

いと分からぬ」という声も踏まえ、各候補を8、9月に現場で試し、使い勝手を検証した。担当者は「作業服のリニューアルで、ここまで現場の声を反映したのは初めて。要望に沿った改善ができたのではないか」と振り返る。

環境に配慮し、使用済み作業服は外部のリサイクルシステムを利用し回収、再資源化している。

同社は1922年創業。10月にE T S ホールディングスから社名を変更した。